

宮崎県立日南振徳高等学校



介護福祉士育成施設における
情報開示

情報開示の項目

設置者に関する情報

- ①設置者の名称及び主たる事務所の所在地並びに連絡先
宮崎県教育委員会
〒880-8502 宮崎県宮崎市橘通東1丁目9番10号
- ②法人の代表者氏名
教育長 渡邊 義人
- ③福祉系高等学校以外の実施事業
割愛
- ④財務諸表（設置者が法人の場合）
割愛

福祉系高等学校に関する情報

①名称、住所及び連絡先

宮崎県立日南振徳高等学校全日制課程福祉科
〒887-2532 宮崎県日南市大字板敷410番地
TEL 0987-25-1107

②福祉系高等学校等の校長の氏名

川上 浩

③開設年月日

平成21（2009）年4月1日

④学則等

宮崎県立日南振徳高等学校 学校規則

1 設置目的 教育基本法、学校教育法及び建学の精神に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。
また、一人ひとりの個性の伸長と学力の向上を図り、現代社会に求められる有為な人材を育成することを目的とする。

2 名称 宮崎県立日南振徳高等学校

3 位置 〒889-2532 宮崎県日南市大字板敷410 (TEL 0987-25-1107)

4 課程及び修業年限 課程：全日制課程 修業年限：3ヵ年

5 設置学科及び定員

教科「福祉」に関する学科	福祉科	(40名)	
教科「農業」に関する学科	地域農業科	(40名)	
教科「工業」に関する学科	機械科	(40名)	電気科 (40名)
教科「商業」に関する学科	商業科	(40名)	経営情報科 (40名)

1学年定員合計 6クラス 240名

6 養成課程及び履修方法

- (1) 介護福祉士国家試験受験資格取得のため、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則」第八条第一号（別表第五）に定める養成課程を置くこととする。
- (2) 生徒は教育課程の定めるところにより、規定された科目をすべて履修（必修）し、修得しなければならない。
- (3) 前項の科目と単位数は次のとおりとする。（単位数は52単位：授業時間数は1820時間）

	科目名	単位数	授業時間数
福祉	社会福祉基礎	4単位	140時間
	介護福祉基礎	5単位	175時間
	コミュニケーション技術	2単位	70時間
	生活支援技術	10単位	350時間
	介護過程	4単位	140時間
	介護総合演習	3単位	105時間
	介護実習（臨地実習）	13単位	455時間
	こころとからだの理解	8単位	280時間
公民	現代社会	2単位	70時間
家庭	家庭基礎	2単位	70時間
	総 数	53単位	1855時間

※ 入学後3ヵ年の教育課程表・・・別表

7 学年、学期及び教育活動を行わない日

- (1) 学期 学年を次の3学期に分ける。
第一学期 4月 1日から 8月24日まで
第二学期 8月25日から12月31日まで
第三学期 1月 1日から 3月31日まで
- (2) 休業日 休業日は、国民の祝日に関する法律に規定する休日、日曜日、及び土曜日のほか、次のとおりとする。
- ①春季休業日 4月 1日から 4月 7日まで (7日間)
 - ②夏季休業日 7月18日から 8月24日まで (38日間)
 - ③冬季休業日 12月23日から翌年1月 6日まで (15日間)
 - ④学年末休業日 3月25日から 3月31日まで (7日間)
 - ⑤その他の休業日

- 8 入学時期 学年の初めから30日以内とする。ただし、校長は、特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認めたときは、学年の途中においても、学期の区分に従い、入学を許可することができる。

- 9 入学資格 入学することのできる者は、中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者若しくは中等学校の前期課程を修了した者又は施行規則第63条の規定により、これと同等以上の学力があると認められた者とする。
(宮崎県立高等学校管理運営規則第16条)

- 10 入学者の選考 入学者の選抜に当たっては、宮崎県高等学校入学者選抜検査実施要項に則って実施し、選考委員会で審議し、校長が決裁する。

- 11 入学手続き 入学者選抜により合格した者は、誓約書及び住民票の抄本に入学金を添え、校長の指定した期日までに、校長に提出しなければならない。
(宮崎県立高等学校管理運営規則第19条)
入学式の日は4月10日とするが、校長は学校行事等の都合でこれを変更することができる。

12 退学、休学、復学、卒業

- (1) 卒業認定 卒業認定は、校長が、当該高等学校所定の全課程を修了したと認めた者について、これを行う。

(2) 休学願と許可

- ①病気その他やむを得ない理由により休学しようとする生徒は、保護者と連署した休学願を校長に提出し、その許可を得なければならない。
- ②前項に規定する休学の期間は、一月以上一年以内とする。ただし、特例の事情のある場合には、その期間を通算して二年まで延長することができる。
- ③校長は①の規定により休学を許可した場合において、一月を経過しないうちにその理由が消滅したと認められるときは、休学の許可を取り消すことができる。

(宮崎県立学校管理運営規則第40条)

- (3) 復学 休学中の生徒が復学しようとするときは、保護者と連署した復学願を校長に提出し、その許可を受けなければならない。

(宮崎県立学校管理運営規則第42条)

- (4) 退学 退学しようとする生徒は、保護者と連署した退学願を校長に提出し、その許可を受けなければならない。

(宮崎県立学校管理運営規則第42条)

- 13 **学習の評価** 生徒の成績評価は、担当教員の評価及び意見並びにその他の資料に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標を基準として、校長が行う。
(宮崎県立高等学校管理運営規則第27号)

14 **入学検定料、入学料、授業料、実習費等**

入学検定料	2200円
入学料	5650円
授業料	9800円
実習料	40000円

- 15 **教職員の組織** 本校には、地教行法第31条1項に基づき、校長、教頭、事務長、教諭をおく。その他、養護教諭、実習助手、事務主査、主任主事等をおく。
なお、福祉科の専門教育に携わる教員は、社会福祉士養成学校指定規則第8条の規定を満たすよう有資格教諭4名をおく。

16 **懲戒**

- ①校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、生徒に懲戒を加えることができる。
ただし、体罰を加えることはできない。
- ②前項の懲戒を加えるに当たっては、生徒の意見の聴衆や心身の発達に応ずる等教育上必要な配慮をしなければならない。
- ③懲戒のうち、退学、停学及び訓告の処分は、校長がこれを行う。

⑤施設設備の概要 (図書の数を含む)

位置及び校舎配置図



図書館蔵書数 約14,000冊

養成課程に関する情報

①養成課程の教育課程表

平成26年度入学生教育課程表（福祉科）

教科	科目	標準単位	1年	2年	3年	合計	
国語	国語総合	4	2	2		4	
	現代文A	2			2	2	
地理歴史	世界史A	2			2	2	
	地理A	2	2			2	
公民	現代社会	2		2		2	
数学	数学Ⅰ	3	2	2		4	
	数学Ⅱ	4					
	数学A	2			2	2	
理科	科学と人間生活	2	2			2	
	物理基礎	2					
	化学基礎	2					
	生物基礎	2		2		2	
保健体育	体育	7～8	2	2	3	7	
	保健（こころとからだの理解で1単位を代替）	2	1			1	
芸術	音楽Ⅰ	2	2△			2△	
	美術Ⅰ	2	2△			2△	
	書道Ⅰ	2	2△			2△	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4					
	英語表現Ⅰ	2					
	英語会話	2		2		2	
家庭	家庭基礎	2			2	2	
単位小計			16	12	11	39	
専門教科	福祉	社会福祉基礎	4	2	2		4
		介護福祉基礎	5	2	3		5
		コミュニケーション技術	2		2		2
		生活支援技術 （医療的ケアを含む）	10	3	3	4	10
		介護過程	4			4	4
		介護総合演習	3	1	1	2	4
		介護実習（臨地実習）	13	3	5	5	13
		こころとからだの理解	8	2	2	4	8
		福祉情報活用	2	2			2
専門科目の単位数計			14	18	19	52	
総合制選択科目				2	2	4	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
総合的な学習の時間			1			1	
履修単位数総計			33	33	33	99	

※「こころとからだの理解」により「保健」（1単位）を代替する。

②定員

40名

③入学までの流れ

宮崎県教育委員会HPをご覧ください。

なお、本校に関する資料は

宮崎県立日南振徳高等学校全日制課程福祉科

〒887-2532 宮崎県日南市大字板敷410番地

TEL 0987-25-1107

④費用

生徒1人あたりの費用

費用	第1学年	第2学年	第3学年	摘要
入学検定料	2,200			PTA、後援会費、生徒会費 23,640
入学金	5,650			
授業料	0	0	0	教材費 40,000
実習費	40,000	35,000	35,000	修学旅行費等 77,700
施設維持費	0	0	0	
※その他諸費	90,624	168,324	98,624	その他 26,984
合計	138,474	203,324	133,624	

※その他諸費については、摘要欄参照。

⑤科目別シラバス

科目名	社会福祉基礎	学 年	1 年	使用 する 教材	【教科書】 社会福祉基礎 実教出版株式会社
		単位数	2		【副教材】 介護福祉士用語辞典
学習の目標	1 社会福祉に関する基礎的な知識を身に付け理解を深めます。 2 現代社会における社会福祉の意義や役割について理解を深めます。 3 社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付け理解を深めます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	社会福祉に対する幅広い視野と福祉観を持ち、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	社会福祉に関する課題を主体的に解決するために思考し、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	社会福祉に関する基礎的・基本的な知識や技術、それを表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
評価方法	学習状況観察、ワークシート・ノート、研究・発表・定期考査・単元テストの結果等で総合的に判断して評価します。				
学習の方法	○毎時間の授業では、はじめに必ず今日のポイントを示しますので、積極的に学習に参加しましょう。 ○授業時間は板書したことを、ノートにきちんと書いて確認をしていきましょう。また、難しい語句は介護福祉用語辞典を使って調べましょう。 ○わからないことや疑問点は、後回しにしないで、その場で解決していくようにしましょう。				
学期	項目				
1 学期	1 社会福祉の理念と意義 ・生活と福祉 ・社会福祉の理念 ・人間の尊厳と自立				
2 学期	2 人間関係とコミュニケーション ・人間関係の形成 ・コミュニケーションの基礎 ・社会福祉援助活動の概要				
3 学期	3 社会福祉思想の流れと福祉社会への展望 ・外国における社会福祉 ・日本における社会福祉 ・地域福祉の進展				

科目名	介護福祉基礎	学 年	1 年	使用 する 教材	【教科書】 介護福祉基礎 実教出版株式会社
		単位数	2		【副教材】 新・介護福祉士養成講座 「介護の基本 I」
学習の目標	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身につけます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出物を期限内に出している。 積極的に授業・実習に取り組む姿勢をもっている。 分からない内容についてはそのままにせず、自ら進んで質問をしたり、調べるなど、解決しようとする態度を身につけている。 			
	② 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 自立の考え方、ノーマライゼーション、ICFの考え方、自己決定、生活の質の向上について思考を深め、自立生活を支援する援助方法について考えることができる。 			
	③ 技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 適切な介護のあり方に則った介護・コミュニケーションが行える。 			
	④ 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 介護の意義と役割について理解し、自立生活支援のために必要な知識を身につけている。社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。 			
評価方法	学習状況観察、ワークシート・ノート、研究・発表・定期考査・単元テストの結果等で総合的に判断して評価します。				
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> 「介護」とは誰のために、何のためにする仕事なのか、授業で学んでいきます。初めて聞く専門的な用語が多く出てきますので、教科書・用語事典でわからないことばは調べましょう。 授業に集中して取り組み、その時間に学習したことは復習をして確実に身につけていきましょう。 プリントには板書内容だけでなく、追加説明の内容、介護福祉士国家試験でのポイント等も記入し、後から見ても分かりやすいようにまとめましょう。 				
学期	項目				
1 学期	1 介護の意義と役割 (1) 尊厳を支える介護 <ul style="list-style-type: none"> 尊厳を支えることの意味 QOLの考え方 ノーマライゼーションの実現 ICFの考え方 (2) 自立に向けた介護 <ul style="list-style-type: none"> 利用者に合わせた生活支援 自立に向けた支援とは 介護の専門性 				
2 学期	2 介護の担い手 (1) 介護従事者を取り巻く状況 <ul style="list-style-type: none"> 介護問題の背景と介護福祉士制度 求められる介護福祉士像 社会福祉士及び介護福祉士法 (2) 介護従事者の役割 <ul style="list-style-type: none"> 専門職能団体がもつ役割と機能 				
3 学期	(3) 介護従事者の倫理 <ul style="list-style-type: none"> 介護実践における倫理 日本介護福祉士会の倫理綱領 (4) 介護における連携 <ul style="list-style-type: none"> 多職種連携 地域連携 				

科目名	生活支援技術	学 年	1 年	使用 する 教材	【教科書】 生活支援技術 実教出版株式会社
		単位数	2		【副教材】 「生活支援技術Ⅰ」 中央法規出版株式会社
学習の目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、基礎的な介護の知識と技術を習得します。様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
評価方法	学習状況観察、ワークシート・ノート、研究・発表・定期考査・単元テストの結果等で総合的に判断して評価します。				
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間の授業では、はじめに必ず今日のポイントを示しますので、積極的に学習に参加しましょう。 ○ 授業時間は集中して取り組みましょう。介護技術は実際に身体を使って身に付けていきます。繰り返し何回も練習しましょう。 ○ 新しく習ったことは、その都度、きちんと理解していきましょう。 				
学期	項目				
1 学期	1 生活支援の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の理解 ・ 生活支援の考え方 ・ 他の職種の役割と協働 				
2 学期	2 自立に向けた生活支援技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本となる介護技術 ・ 居住環境の整備 				
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身じたくの介護 ・ 移動 				

科目名	介護総合演習	学 年	1 年	使用 する 教材	【教科書】新・介護福祉士養成講座 「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版株式会社
		単位数	(1単位)		【副教材】
学習の目標	介護演習や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	実習目標を理解し、高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
評価方法	学習状況観察、介護演習、事例研究などを通して総合的に判断して評価します。				
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業に積極的に取り組み、知識と技術を身につけましょう。 ○ 授業の内容は、毎時間きちんと確認をしていきましょう。また、わからないことや疑問点は、後回しにしないで、その場で解決していくようにしましょう。 ○ 事例研究や調査など実践的な学習に積極的に取り組みましょう。 				
学期	項目				
1学期	(1) 介護総合演習で学ぶこと ①介護総合演習の位置づけ ②介護総合演習の目的 (2) 介護実習事前学習 ①介護実習の意義と目的 ②介護実習の種類 ③実習前の学びと実習後の学び (3) 介護実習前後の流れ ①事前学習の内容と方法 ②実習体験の評価と整理の仕方				
2学期	(4) 介護実習事後学習 (5) 実習報告会 (6) 介護実習事後学習 (7) 実習報告会				
3学期	(8) 実習・事業Ⅰにおける事後学習				

科目名	介護実習	学 年	1 年	使用 する 教材	【教科書】新・介護福祉士養成講座 「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版株式会社
		単位数	介護実習（3単位）		【副教材】
学習の目標	1 介護に関する体験的な学習を多様な場において行い、介護に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。 2 介護従事者としての役割を理解し、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を身に付けます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
評価方法	学習状況観察、実習記録・レポート、実技テスト、定期テスト・小テストの結果等で総合的に判断して評価します。				
学習の方法	○ 授業に積極的に取り組み、知識と技術を身につけましょう。 ○ 授業の内容は、毎時間きちんと確認をしていきましょう。また、わからないことや疑問点は、後回しにしないで、その場で解決していくようにしましょう。 ○ 介護技術は繰り返し練習して身に付けましょう。 ○ 社会福祉施設等における高齢者や障害者の介護実習には積極的に取り組みましょう。				
学期	項目				
1学期	(1) 多様な介護の場における実 習 ア、介護技術の実践 イ、コミュニケーションの実践 ○8月に5日間の実習				
2学期	○12月に10日間の実習				
3学期	ウ、他職種協働及びチームケアの理解 (2) 個別ケアのための継続した実習 ア、個別的な介護技術の実践				

科目名	こころとからだの理解	学 年	1年	使用 する 教材	【教科書】 こころとからだの理解 実教出版株式会社
		単位数	2		【副教材】 こころとからだのしくみ 中央法規出版株式会社
学習の目標	こころとからだの理解では、自立生活を支援するために必要なこころとからだに関する基礎的な知識について、私たちの人体や基本的な生活行動と関連させながら学びます。また、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解し、介護実践に適切に活用できる能力を育てます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	○積極的に授業、実習に取り組む姿勢をもっている。 ○提出物を期限内に出している。			
	② 思考・判断	○基礎的・基本的な知識を活用し、自分の健康管理について、日常生活を通して、考えることができる。 ○人体の健康状態、発達状態、加齢状態、病態の進行状況を観察し、対象者を適切に判断した上で、援助の方法を考えることができる。			
	③ 技能・表現	○人体の構造について、各部位の位置関係を理解し、図表化することができる。			
	④ 知識・理解	○人体の構造と機能について、各部位の名称および位置、はたらき等、理解している。			
評価方法	学習状況観察、ワークシート・ノート、研究・発表・定期考査・単元テストの結果等で総合的に判断して評価します。				
学習の方法	○ 医療に関するドラマや番組、新聞記事などを、積極的に見るようにしましょう。学んでいることがよく出てくるので、予習・復習に役立ちます。 ○ 専門的な用語が多く出てくるので、その日学習した内容を自宅学習でもしっかりと復習して、確実に身に付けましょう。				
学期	項目				
1学期	<p>序章 「健康」とは何か</p> <p>1 こころのしくみを理解する</p> <p>1) 人間の欲求とは</p> <p>2) 自己概念と尊厳</p> <p>3) こころのしくみの基礎</p> <p>2 からだのしくみを理解する</p> <p>1) からだのしくみ</p> <p>2) からだの動き</p> <p>3 身支度に関連したしくみ</p> <p>1) 身支度のしくみ</p> <p>2) 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響</p> <p>3) 変化の気づきと対応</p>				
2学期	<p>4 移動に関連したしくみ</p> <p>1) 移動のしくみ</p> <p>2) 心身の機能低下が移動に及ぼす影響</p> <p>3) 変化の気づきと対応</p> <p>5 食事に関連したしくみ</p> <p>1) 食事のしくみ</p> <p>2) 心身の機能低下が食事に及ぼす影響</p> <p>3) 変化の気づきと対応</p> <p>6 入浴・清潔保持に関連したしくみ</p> <p>1) 入浴・清潔保持のしくみ</p>				

	<ul style="list-style-type: none"> 2) 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 3) 変化の気づきと対応 <p>7 排泄に関連したしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 排泄のしくみ 2) 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 3) 変化の気づきと対応
3学期	<p>8 睡眠に関連したしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 睡眠のしくみ 2) 心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響 3) 変化の気づきと対応 <p>9 死にゆく人に関連したしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 「死」を理解する 2) 終末期から「死」までの変化と特徴 3) 「死」に対するこころの理解 4) 医療職との連携ポイント

科目名	社会福祉基礎	学 年	2 年	使用 する 教材	【教科書】実教出版「社会福祉基礎」
		単位数	2		【副教材】中央法規出版株式会社 新・介護福祉士養成講座 「社会と制度の理解」
学習の目標	1 社会福祉に関する基礎的な知識を身に付け、社会福祉の法律等の理解を深めます。 2 現代社会における社会保障制度の意義・役割について理解を深めます。 3 社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付け理解を深めます。				
学習の方法	○ 毎時間の授業では、はじめに必ず今日のポイントを示しますので、積極的に学習に参加しましょう。 ○ 授業時間は板書したことを、ノートにきちんと書いて確認をしていきましょう。また、難しい語句は介護福祉用語辞典を使って調べましょう。 ○ わからないことや疑問点は、後回しにしないで、その場で解決していくようにしましょう。				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	社会福祉に対する幅広い視野と福祉観を持ち、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	社会福祉に関する課題を主体的に解決するために思考し、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	社会福祉に関する基礎的・基本的な知識や技術、それを表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
学習のアドバイス	○ 難しい専門用語がよく出てきます。介護福祉用語辞典をいつも手元において、わからない語句は自分で積極的に調べましょう。 ○ いろいろなことに関心を持ち、自分で課題が解決できるよう、調査研究する態度を身に付けましょう。 ○ 新聞やテレビのニュースなどを、積極的にみるように心がけ、常に、社会の動きに関心を持つようにしましょう。				
学期	学 習 内 容				
1 学期	1 私たちの生活と社会福祉 ・生活の構造 ・地域社会と個人 ・現代におけるライフスタイルの変化				
2 学期	2 社会保障に関する制度のあり方 ・社会保障の仕組み ・介護保険制度のあり方 ・障害者の自立支援を担う法制度のあり方				
3 学期	3 介護実践にかかわる諸制度 ・権利にかかわる諸制度 ・医療にかかわる諸制度 ・生活の場にかかわる諸制度				

科目名	介護福祉基礎	学 年	2年	使用 する 教材	【教科書】 介護福祉基礎 実教出版株式会社
		単位数	2		【副教材】
学習の目標	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身につけます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出物を期限内に出している。 積極的に授業・実習に取り組む姿勢をもっている。 分からない内容についてはそのままにせず、自ら進んで質問をしたり、調べたりするなど、解決しようとする態度を身につけている。 			
	② 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 国民の求める多様な介護ニーズに対応した介護従事者のあり方について、考えることができる。 介護を必要とする人に対して、尊厳ある暮らしを支える介護の専門職としての役割を考えることができる。 			
	③ 技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 適切な介護のあり方に則った介護・コミュニケーションが行える。 			
	④ 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 介護の意義と役割について理解し、尊厳の保持や自立支援のために必要な知識を身につけている。 			
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> 初めて聞く専門的な用語が多く出てきますので、わからないことは積極的に調べたり、質問しましょう。 授業に集中して取り組み、その時間に学習したことは復習をして確実に身につけていきましょう。 				
学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な用語が多く出てくるので、復習をしましょう。また、意味の分からない言葉は調べたり、質問するようにしましょう。 日頃から、福祉に関する新聞記事やニュース等に目を向けましょう。 				
学期	学 習 内 容				
1 学期	2 介護を必要とする人の理解と介護 (1) 高齢者の生活と介護 <ul style="list-style-type: none"> 生活支援 生活を支える介護 運動・移動の介護の基本(1) 運動・移動の介護の基本(2) 食事介護の基本 着替え介護の基本 				
2 学期	(2) 障害者の生活と介護 <ul style="list-style-type: none"> 障害とは 視覚障害者、聴覚・言語障害者の生活と支援 肢体不自由者の生活と支援 内部障害者の生活と支援 知的障害者の生活と支援 発達障害者の生活と支援 3 介護を必要とする人の生活環境 (1) 介護と環境 (2) 自立に向けた介護				

3 学期	4 介護福祉の担い手 (1)介護従事者を取りまく状況 (2)介護従事者の役割 5 介護福祉サービスの概要と連携 (1)介護サービスの概要 (2)介護における連携
------	---

科目名	コミュニケーション 技術	学 年	2年	使用 する 教材	【教科書】 コミュニケーション技術 中央法規出版株式会社
		単位数	2単位		【副教材】 介護福祉士用語辞典
学習の目標	1 介護サービスを提供する対象・場によらずあらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術を身につけます 2 自立支援の観点から介護実践できる力を身につけます。 3 介護におけるチームのコミュニケーションに必要な記録や報告等について学び、技術を身につけます。				
学習の方法	○ 授業時間は板書したことを、学習プリントにきちんと書いて確認をしていきましょう。 ○ 国家試験で出題されやすいポイントは小テストを行います。復習をしっかりとしましょう。				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	利用者や家族、他の専門職と積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	感覚機能・運動機能・認知・知覚機能が低下している利用者の状態について理解し、それに応じたコミュニケーション技法を適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	さまざまなコミュニケーション技法について理解し、実際に体験し、それを習得する。			
	④ 知識・理解	介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割について理解している。			
学習のアドバイス	○ 難しい専門用語がよく出てきます。介護福祉用語辞典をいつも手元において、わからない語句は自分で積極的に調べましょう。 ○ いろいろなことに関心を持ち、自分で課題が解決できるよう、調査研究する態度を身に付けましょう。 ○ 新聞やテレビのニュースなどを、積極的にみるように心がけ、常に、社会の動きに関心を持つようにしましょう。				
学期	学 習 内 容				
1 学期	1 介護におけるコミュニケーションの基本 1) 介護におけるコミュニケーションとは 2) 介護におけるコミュニケーションの役割 3) 介護における生活支援とコミュニケーション 2 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 1) 話を聴く技法 2) 利用者の感情表現を察する技法 3) 利用者の納得と同意を得る技法 4) 質問の技法 5) 相談・助言・指導の技法				
2 学期	6) 利用者の意欲を引き出す技法 7) 利用者と家族の意向を調整する技法 8) 複数の利用者がある場面でのコミュニケーション技法 3 利用者の特性に応じたコミュニケーション 1) コミュニケーション障害の理解				

	<ul style="list-style-type: none">2) コミュニケーション障害のある利用者への対応3) 利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際
3学期	<ul style="list-style-type: none">4 介護におけるチームのコミュニケーション<ul style="list-style-type: none">1) チームのコミュニケーション2) 記録3) 報告・連絡・相談4) 会議

科目名	生活支援技術	学 年	2 年	使用 する 教材	【教科書】 生活支援技術 実教出版株式会社
		単位数	4		【副教材】 実技試験のチェックポイント
学習の目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、日常生活における基礎的な介護の知識と技術を習得します。利用者の精神的な面や、どのようなニーズがあるかを考慮しながら、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てます。				
評価の観点	① 関心・意欲・態度	高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間の授業では、はじめに必ず今日のポイントを示しますので、積極的に学習に参加しましょう。 ○ 授業時間は集中して取り組みましょう。介護技術は実際に身体を使って身に付けていきます。繰り返し何回も練習しましょう。 ○ 新しく習ったことは、その都度、きちんと理解していきましょう。 				
学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護に関する専門用語がよく出てきます。わからない語句は辞典などを使って自分で積極的に調べましょう。 ○ 実技を伴う科目です。積極的に取り組み自分の体を使って覚えましょう。 ○ 一つ一つの動きについて、なぜ、そうしなければいけないのかを考えた実技を展開していきましょう。 				
学期	学 習 内 容				
1 学期	1 移動の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・移動の意義と目的 ・移動・移乗における介護技術 ・他職種との役割と協働 2 食事の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義と目的 ・食事における介護技術 ・他職種との役割と協働 3 入浴・清潔保持の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持の意義と目的 ・他職種との役割と協働 				
2 学期	4 排泄の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の意義と目的 ・排泄における介護技術 ・他職種との役割と協働 5 睡眠の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の意義と目的 ・睡眠における介護技術 ・他職種との役割と協働 				

	<p>6 医療的ケア実施の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア ・安全な療養生活 ・清潔保持と感染予防 ・健康状態の把握
<p>3学期</p>	<p>7 喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 ・高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 <p>8 経管栄養（基礎的知識・実施手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者及び障害児・者の経管栄養概論 ・高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説

科目名	介護実習	学 年	2 年	使用する 教材	【教科書】新・介護福祉士養成講座 「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版株式会社
	介護総合演習	単位数	介護実習（5単位） 介護総合演習（1単位）		【副教材】
学習の目標	<p>1 介護に関する体験的な学習を多様な場において行い、介護に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。</p> <p>2 介護従事者としての役割を理解し、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を身に付けます。</p>				
学習の観点	① 関心・意欲・態度	高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業に積極的に取り組み、知識と技術を身につけましょう。 ○ 授業の内容は、毎時間きちんと確認をしていきましょう。また、わからないことや疑問点は、後回しにしないで、その場で解決していくようにしましょう。 ○ 介護技術は繰り返し練習して身に付けましょう。 ○ 社会福祉施設等における高齢者や障害者の介護実習には積極的に取り組みましょう。 				
学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護に関する専門用語が出てきます。わからない語句は自分で積極的に調べましょう。 ○ 実技が中心の科目です。しっかりと技術を身に付けましょう。 ○ 一つ一つの動きについて、なぜ、そうしなければいけないのか理論に基づいた実技を身に付けましょう。 ○ 福祉施設等における介護実習は積極的に取り組みましょう。 				
学期	学 習 内 容				
1 学期	<p>(1) 介護総合演習で学ぶこと</p> <p>①介護総合演習の位置づけ</p> <p>②介護総合演習の目的</p> <p>(2) 介護実習で学ぶこと</p> <p>①介護実習の意義と目的</p> <p>②介護実習の種類</p> <p>③実習前の学びと実習後の学び</p> <p>(3) 介護実習前後の流れ</p> <p>①事前学習の内容と方法</p> <p>②実習体験の評価と整理の仕方</p>				
2 学期	<p>(4) 実習先の概要</p> <p>(5) 実習Ⅰの展開</p> <p>①実習Ⅰの目標</p> <p>②介護技術の実践の介護実習</p> <p>③家族、近隣、地域での介護実習</p>				
3 学期	<p>(6) 実習Ⅱにおける介護実習</p>				

科目名	こころとからだの理解	学 年	2年	使用 する 教材	【教科書】 こころとからだの理解 実教出版株式会社
		単位数	2		【副教材】 発達と老化の理解 中央法規出版
学習の目標	自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得します。社会的に重要性を増している高齢者や認知症、障害について基礎的な理解を深め、介護実践に適切に活用できる能力を育てます。				
学習の方法	<p>○ 初めて聞く専門的な用語がたくさん出てきます。特に、医学用語は読み方が分かりにくいと思います。漢字に読み仮名をしっかりと書いて、覚えていきましょう。</p> <p>○ 自己の体験や身近な高齢者の体験と重ね合わせてイメージしながら学んでいくと、確実に身に付いていきます。</p> <p>○ 学習では、器具を使用することがあります。大切に扱きましょう。</p> <p>○ 学習プリントは、授業中にしっかりと記入して、ファイルにとじておきましょう。ファイル点検も行います。</p>				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業、実習に取り組む姿勢をもっている。 ・提出物を期限内に出している。 			
	② 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・老化がもたらす運動機能の衰えや心理面への影響から、どのような環境整備や支援により不自由さが軽減されるのか、考えることができる。 ・人体の健康状態、発達状態、加齢状態、病態の進行状況を観察し、対象者を適切に判断した上で、援助の方法を考えることができる。 			
	③ 技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の人格と尊厳の守り方について考え、適切な介護やコミュニケーションが行える。 			
	④ 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・成長・発達の観点から老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化およびその特徴に関する基礎的な知識を理解している。 			
学習のアドバイス	<p>○ 日頃から、医療や福祉に関するドラマや番組、新聞記事などを、積極的に見るようにしましょう。学んでいることがよく出てくるので、予習・復習に役立ちます。</p> <p>○ 専門的な用語が多く出てくるので、その日学習した内容を自宅学習でもしっかりと復習して、確実に身に付けましょう。</p>				
学期	学 習 内 容				
1学期	<p>[人間の成長と発達の基礎的理解]</p> <p>1 発達とは</p> <p>1) 発達と老化の理解</p> <p>2) 人間の発達と発達課題</p> <p>2 老年期の理解と日常生活</p> <p>1) 老年期の発達と成熟</p>				
2学期	<p>2) 加齢に伴う心身の変化の特徴</p> <p>3) 加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響</p> <p>4) 高齢者の心理</p>				
3学期	<p>1) 高齢者の疾病と生活上の留意点</p> <p>2) 保健・医療職との連携</p> <p>3) 高齢者と健康</p>				

科目名	生活支援技術	学年	3年	使用する教材	【教科書】 生活支援技術 実教出版株式会社
		単位数	4		【副教材】 実技試験のチェックポイント
学習の目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、日常生活における基礎的な介護の知識と技術を習得します。利用者の精神的な面や、どのようなニーズがあるかを考慮しながら、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てます。				
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間の授業では、はじめに必ず今日のポイントを示しますので、積極的に学習に参加しましょう。 ○ 授業時間は集中して取り組みましょう。介護技術は実際に身体を使って身に付けていきます。繰り返し何回も練習しましょう。 ○ 新しく習ったことは、その都度、きちんと理解していきましょう。 				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護に関する専門用語がよく出てきます。わからない語句は自分で積極的に調べましょう。 ○ 実技を伴う科目です。積極的に取り組み自分の体を使って覚えましょう。 ○ 一つ一つの動きについて、なぜ、そうしなければいけないのかを考えた実技を展開していきましょう。 				
学期	学 習 内 容				
1 学期	1 障害に応じた生活支援技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害に応じた介護 ・ 聴覚・言語障害に応じた介護 ・ 重複障害に応じた介護 ・ 運動機能障害に応じた介護 ・ 内部障害に応じた介護 心臓機能障害 				
2 学期	腎臓機能障害 呼吸器機能障害 膀胱・直腸機能障害 肝臓機能障害 2 障害に応じた生活支援技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害に応じた介護 ・ 精神障害に応じた介護 ・ 高次脳機能障害に応じた介護 ・ 発達障害に応じた介護 ・ 重症心身障害に応じた介護 				
3 学期	3 認知症のある人に応じた生活支援技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症介護の基本視点 ・ 認知症介護における生活支援の展開 				

科目名	こころとからだの理解	学 年	3年	使用する教材	【教科書】 こころとからだの理解 実教出版株式会社
		単位数	4		【副教材】 認知症の理解, 障害の理解 中央法規出版株式会社
学習の目標	自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得します。社会的に重要性を増している高齢者や認知症、障害について基礎的な理解を深め、介護実践に適切に活用できる能力を育てます。				
学習の方法	<p>○ 初めて聞く専門的な用語がたくさん出てきます。特に、医学用語は読み方が分かりにくいと思います。漢字に読み仮名をしっかりと書いて、覚えていきましょう。</p> <p>○ 自己の体験や身近な高齢者の体験と重ね合わせてイメージしながら学んでいくと、確実に身に付いていきます。</p> <p>○ 学習プリントは、授業中にしっかりと記入して、ファイルにとじておきましょう。ファイル点検も行います。</p>				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業、実習に取り組む姿勢をもっている。 ・提出物を期限内に出している。 			
	② 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の健康状態、発達状態、加齢状態、病態の進行状況を観察し、対象者を適切に判断した上で、援助の方法を考えることができる。 			
	③ 技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の人格と尊厳の守り方について考え、適切な介護やコミュニケーションが行える。 			
	④ 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の原因となる主な疾病や症状の特徴、それらによって引き起こされる機能の変化や生活障害、認知症ケアなどについて理解できる。 ・障害の心理や障害の医学的な基礎知識、自立支援に向けた国際生活機能分類（ICF）の障害のとらえ方について理解できる。 			
学習のアドバイス	<p>○ 日頃から、医療と福祉に関するドラマや番組、新聞記事などを、積極的に見るようにしましょう。学んでいることがよく出てくるので、予習・復習に役立ちます。</p> <p>○ 専門的な用語が多く出てくるので、その日学習した内容を自宅学習でもしっかりと復習して、確実に身に付けましょう。</p>				

<認知症の理解>

学期	学 習 内 容
1 学期	1 認知症をとりまく環境 1) 認知症ケアの歴史と理念 2) 認知症高齢者の現状と今後 3) 認知症に関する行政の方針と施策 2 認知症の基礎的理解 1) 認知症による症状 2) 認知症の診断 3) 認知症の主な病気の特徴
2 学期	4) 若年性認知症 5) 認知症の薬物療法 3 認知症に伴う心身の変化と日常生活 1) 認知症の人の特徴的な行動・心理 2) 認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響

3学期	4 認知症と地域サポート 1) 地域におけるサポート体制 2) 家族への支援
-----	--

<障害の理解>

学期	学 習 内 容
1学期	1 障害の基礎的理解 1) 障害の概念 2) 障害者福祉の基本理念 2 生活機能障害の理解 1) 身体障害 2) 精神障害 3) 知的障害
2学期	4) 発達障害 5) 高次脳機能障害 6) 難病 3 障害に伴う心身の変化と日常生活 1) 障害のある人の心理 2) 障害に伴う機能の変化と日常生活への影響
3学期	4 障害と地域生活支援 1) 地域におけるサポート体制 2) 家族への支援

科目名	介護実習	学 年	3 年	使用する 教材	【教科書】 新・介護福祉士養成講座 「介護総合演習・介護実習」 中央法規出版株式会社
	介護総合演習	単位数	介護実習（5単位） 介護総合演習（2単位）		【副教材】
学習の目標	1 介護に関する体験的な学習を多様な場において行い、介護に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。 2 介護従事者としての役割を理解し、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を身に付けます。				
学習の方法	○ 授業に積極的に取り組み、知識と技術を身につけましょう。 ○ 授業の内容は、毎時間きちんと確認をしていきましょう。また、わからないことや疑問点は、後回しにしないで、その場で解決していくようにしましょう。 ○ 介護技術は繰り返し練習して身に付けましょう。 ○ 社会福祉施設等における高齢者や障害者の介護実習には積極的に取り組みましょう。				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	高齢者や障害者への介護活動等を通して、社会福祉の向上を図る能力と意欲的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。			
	② 思考・判断	高齢者や障害者への介護活動等にかんする課題を主体的に解決するために考え、適切に判断する能力を身に付けている。			
	③ 技能・表現	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識や技術を表現する力を身に付けている。			
	④ 知識・理解	高齢者や障害者への介護活動等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。			
学習のアドバイス	○ 介護に関する専門用語が出てきます。わからない語句は自分で積極的に調べましょう。 ○ 実技が中心の科目です。しっかりと技術を身につけましょう。 ○ 一つ一つの動きについて、なぜ、そうしなければいけないのか理論に基づいた実技を身に付けましょう。 福祉施設等における介護実習は積極的に取り組みましょう。				
学期	学 習 内 容				
1 学期	(1) 介護実習Ⅱについて ①介護実習Ⅱの目標 ②実習Ⅱのモデル (2) 介護過程を展開する介護実習 ①介護過程の展開を軸にした実習の目的 ②情報収集について ③生活課題について ④介護計画の立案 ⑤自立に配慮した実践 ⑥評価の仕方 ⑦計画の修正について				
2 学期	(3) 総合的な演習の展開 ①総合的な演習の目的と目標 ②介護実習の目標達成度の評価 ③演習課題によるまとめ				
3 学期	(4) 演習課題によるまとめ				

科目名	介護過程	学 年	3年	使用 する 教材	【教科書】 介護過程 中央法規出版株式会社
		単位数	4単位		【副教材】 介護福祉士用語辞典
学習の目標	1 介護過程の意義と役割及びその概要について学び、介護過程の一連の流れについて理解します。 2 自立や豊かな生活につながる介護過程が展開できる力を身につけます。				
学習の方法	○ 授業時間は板書したことを、ノートにきちんと書いて確認をしていきましょう。 ○ 国家試験で出題されやすいポイントは小テストを行います。復習をしっかりとしましょう。 ○ 提出物は期限を守って提出しましょう。				
学習の評価	① 関心・意欲・態度	利用者の希望を尊重した介護計画の立案や介護計画の実施をしようとする姿勢が見られる。			
	② 思考・判断	利用者の生活課題を明確にし、自立生活支援の視点から適切な介護を提供しようとする姿勢が見られる。			
	③ 技能・表現	利用者の生活の全体像やニーズを的確に把握するための情報収集ができ、適切に記録することができる。			
	④ 知識・理解	介護過程の意義・役割について理解し、展開することができる。明確な根拠に基づいて介護過程を展開することができる。			
学習のアドバイス	○ 難しい専門用語がよく出てきます。介護福祉用語辞典をいつも手元において、わからない語句は自分で積極的に調べましょう。 ○ いろいろなことに興味を持ち、自分で課題が解決できるよう、調査研究する態度を身に付けましょう。 ○ 新聞やテレビのニュースなどを、積極的にみるように心がけ、常に、社会の動きに関心を持つようにしましょう。				
学期	学 習 内 容				
1 学期	1 介護過程の意義と目的 ・介護過程とは ・生活支援の考え方と介護過程の必要性 2 介護過程の理解 ・介護過程の全体像 ・アセスメント ・計画の立案				
2 学期	・実施 ・評価 3 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開 ・介護過程の実践的展開 ・「アセスメント」の実際 ・「介護過程」展開の実際 4 介護過程とチームアプローチ ・介護過程とケアマネジメントの関係性 ・チームアプローチにおける介護福祉士の役割				
3 学期	5 利用者の生活と介護過程の展開 ・利用者のさまざまな生活と介護過程の展開 ・事例で考える利用者の生活と介護過程の展開				

⑥教員数、科目別担当教員名

	氏名		担当科目	資格・免許
必置教員 (教務に関する主任 者：◎印 領域「介護」「こころ とからだのしくみ」 に1人以上必要な教 員○印)	◎	濱砂 美穂子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」教員免許
	○	幣島 幸子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」教員免許 看護師
		澤野 なぎさ	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」教員免許
		熊本 尚子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」教員免許
		松原 弥生	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」教員免許
その他の教員		井手 誠	現代社会	「公民」教員免許
		兒玉 和子	家庭基礎	「家庭」教員免許

⑦使用する教材

【中央法規出版株式会社】

新・介護福祉士養成講座	1	「人間の理解」
新・介護福祉士養成講座	2	「社会と制度の理解」
新・介護福祉士養成講座	3	「介護の基本Ⅰ」
新・介護福祉士養成講座	4	「介護の基本Ⅱ」
新・介護福祉士養成講座	5	「コミュニケーション技術」
新・介護福祉士養成講座	6	「生活支援技術Ⅰ」
新・介護福祉士養成講座	7	「生活支援技術Ⅱ」
新・介護福祉士養成講座	8	「生活支援技術Ⅲ」
新・介護福祉士養成講座	9	「介護過程」
新・介護福祉士養成講座	10	「介護総合演習・介護実習」
新・介護福祉士養成講座	11	「発達と老化の理解」
新・介護福祉士養成講座	12	「認知症の理解」
新・介護福祉士養成講座	13	「障害の理解」
新・介護福祉士養成講座	14	「こころとからだのしくみ」

⑧介護実習施設等の名称、住所及び事業内容

施設名	種別	所在地
河鹿の里	特別養護老人ホーム	日南市北郷町大字大藤甲3186番地
くろしおの里	特別養護老人ホーム	日南市南郷町大字中村乙7051番地
ゆうゆうの森	特別養護老人ホーム	串間市大字串間1094
寿楽園	特別養護老人ホーム	串間市北方1599番地
昭寿園	特別養護老人ホーム	日南市大字風田3895
はまゆうの里	特別養護老人ホーム	宮崎県日南市大字楠原1840番地
しあわせの里	介護老人保健施設	宮崎県南那珂郡北郷町大字大藤甲3589-1
ハイム苑	介護老人保健施設	宮崎県日南市中央通1丁目10番15
長寿の里	介護老人保健施設	宮崎県串間市大字奈留5298-3
青島シルバー苑	介護老人保健施設	宮崎県宮崎市青島4-6-3
恵老園	養護老人ホーム	日南市南郷町大字津屋野2458
和幸園	養護老人ホーム	日南市大字平山86
北郷荘	身体障害者療護施設	日南市北郷町大字大藤甲3655
寿楽園デイサービスセンター	通所介護	串間市北方鎌ヶ迫1599
幸寿園	養護老人ホーム	串間市大字串間1094
くろしおの里 (ホームヘルプサービスセンター)	訪問介護	日南市南郷町大字中村乙7051番地
グループホームくろしお	特別養護老人ホーム	日南市南郷町大字中村乙7051番地
くろしおの里 (デイサービスセンター)	通所介護	日南市南郷町大字中村乙7051番地
河鹿の里 (短期入所生活介護事業所)	特別養護老人ホーム	日南市北郷町大字大藤3186番地
河鹿の里 (通所介護事業所)	通所介護	日南市北郷町大字大藤3186番地
河鹿の里 (訪問介護事業所)	訪問介護	日南市北郷町大字大藤甲3186番地
河鹿の里 (居宅介護支援事業所)	居宅介護	日南市北郷町大字大藤
北郷町地域包括支援センター	訪問介護	日南市北郷町大字大藤
長寿の里 (デイサービスセンター)	通所介護	串間市大字奈留5289-3

はまゆうの里 (訪問介護サービス)	訪問介護	日南市大字楠原1840
はまゆうの里 (デイサービス)	通所介護	日南市大字楠原1840
ケアハウスはまゆう	特別養護老人ホーム	日南市大字楠原1840
ハイム苑 (通所リハビリテーション)	介護老人保健施設	日南市中央通1丁目10番15
昭寿園 (通所介護事業)	通所介護	日南市大字風田3895

⑧介護実習の内容及び特徴

介護実習要項

1. 実習の意義

介護の実体験をとおして、3つの領域「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の学習内容を統合させて、介護とは何かを理解し、実践する基礎的能力を修得する。

2. 実習の目標

介護に関する体験的な学習を多様な介護の場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解し、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を身につける。

実習施設・事業等（Ⅰ）

利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践、他職種協働の実践、介護技術の確認等を行うことに重点を置く。

様々な生活の場における個々の生活リズムや個性を理解した上で、個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、他職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。

実習施設・事業等（Ⅱ）

一つの施設・事業等において一定期間以上継続して実習を行う中で、利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった一連の介護過程のすべてを継続的に実践することに重点を置く。

利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他学科で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。

3. 介護実習の内容・特徴

(1) 介護実習の種類

介護実習Ⅰ

- ①見学実習（1年生・・・5日間）
- ②介護実習（1年生・・・10日間）
（2年生前期・・・12日間）
（2年生後期・・・10日間）

介護実習Ⅱ

- ③介護実習（3年生前期・・・12日間）
（3年生後期・・・10日間）

(2) 実習時間

1日の実習時間は原則として、午前8時30分から午後4時30分までの8時間（休憩60分を含む）を行う。介護実習1日あたりのカウントは8単位時間（1～8時限）とする。

(3) 実習内容

	項目	実習内容
1年生	<p>(1) 多様な介護の場における実習</p> <p>ア、介護技術の実践 イ、コミュニケーションの実践 ウ、他職種協働及びチームケアの理解</p> <p>○7月に5日間の実習 ○12月に10日間の実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な介護の場における実習を通して、利用者やその家族とコミュニケーションを図り、サービス利用者の状況を理解する。 ・食事介助・衣服の着脱・清潔・排泄の介護など基礎的・基本的な介護技術を実践する。 ・さまざまな暮らしの場における一人ひとりの利用者に応じた生活の支援の方法について理解する。 ・実習Ⅰの現場における介護実習を体験し、その分析、反省を行い次年度の実習へつなぐ。
2年生	<p>(1) 多様な介護の場における実習</p> <p>ア、介護技術の実践 イ、コミュニケーションの実践 ウ、他職種協働及びチームケアの理解</p> <p>○8月に10日間の実習 ○11月に12日間の実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な介護の場における実習を通して、利用者やその家族とコミュニケーションを図り、サービス利用者の状況を理解する。 ・食事介助・衣服の着脱・清潔・排泄の介護など基礎的・基本的な介護技術を実践する。 ・さまざまな暮らしの場における一人ひとりの利用者に応じた生活の支援の方法について理解する。 ・実習Ⅰの現場における介護実習を体験し、その分析、反省を行い次年度の実習Ⅱへつなぐ。
3年生	<p>(2) 個別ケアのための継続した実習</p> <p>ア、個別的な介護技術の実践 イ、介護過程の実践</p> <p>○6月に10日間の実習 ○8月に12日間の実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の高齢者や障害者などに対する介護も含めて、自立支援のための個別ケアを進めるために、基本的な介護技術を基に、サービス利用者の状況や状態、生活課題を把握する。 ・サービス利用者の自立生活を支援し、クオリティ・オブ・ライフを高めながら、一人一人に対応した介護が提供できるようにする。 ・サービス利用者の状態の変化に応じた継続的な介護の方法について実践できる能力を習得する。 ・自立支援のために、サービス利用者の心身の状況や生活の状況など幅広く観察し、生活上の課題を明確化し一連の介護過程を実践する。 ・サービス利用者の状態の変化に応じた継続的な介護の方法について実践できる能力を習得する。

実績情報

本校は平成21年度に開設した学校であり、平成26年3月に3回生の卒業生を出している。